

福島第一原子力発電所の状況

2015年5月29日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (5/29 11:00 時点)

| 号機 | 注水状況 | | 原子炉压力容器 下部温度 | 原子炉格納容器 圧力 | 原子炉格納容器 水素濃度 |
|-----|-----------|-------------------------------|-----------------|---------------|-----------------|
| 1号機 | 淡水 注入中 | 炉心ブレイ系：約2.0 m ³ /h | 21.9 | 0.5 kPa g | A系： 0.00 vol% |
| | | 給水系：約2.2 m ³ /h | | | B系： 0.00 vol% |
| 2号機 | 淡水 注入中 | 炉心ブレイ系：約2.5 m ³ /h | 28.6 | 3.72 kPa g | A系： 0.01 vol% |
| | | 給水系：約1.9 m ³ /h | | | B系： 0.03 vol% |
| 3号機 | 淡水 注入中 | 炉心ブレイ系：約2.3 m ³ /h | 25.4 | 0.24 kPa g | A系： 0.03 vol% |
| | | 給水系：約2.1 m ³ /h | | | B系： - vol% |

作業に伴いデータ欠測

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (5/29 11:00 時点)

| 号機 | 冷却方法 | 冷却状況 | 使用済燃料プール水温度 |
|-----|----------|------|-------------|
| 1号機 | 循環冷却システム | 運転中 | 22.5 |
| 2号機 | 循環冷却システム | 運転中 | 25.4 |
| 3号機 | 循環冷却システム | 運転中 | 20.5 |
| 4号機 | 循環冷却システム | 運転中 | 19.0 |

各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘビドラジンの注入を適宜実施。

【6号機】・補機冷却海水系については、ストレーナおよび弁点検のため、5/29～6/12にかけて停止。停止期間においては、使用済燃料プール冷却浄化系(FPC系)が使用できなくなるが、残留熱除去系(RHR系)による非常時熱負荷運転(使用済燃料プール冷却)を行い、使用済燃料プール冷却を実施。これに伴い、使用済燃料プールの冷却はFPC系からRHR系による非常時熱負荷運転に切り替えるため、5/29 10:17にFPC系を停止し、同日 10:48にRHR系による非常時熱負荷運転を起動。RHR系の運転状態に異常はない。なお、使用済燃料プール水温度は20.5と変化はない。また、6/12にRHR系による非常時熱負荷運転からFPC系へ切り替えるため、約2時間停止する予定。

<参考> 5/28 16:00 現在の使用済燃料プール水温度は 18.9 で、冷却停止時における使用済燃料プール水の温度上昇率評価値は 0.3 / h。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

| 号機 | 排出元 | 移送先 | 移送状況 |
|-----|---------------|--------------------|------------------------------|
| 2号機 | 2号機 タービン建屋 | 集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋) | 5/26 11:11 ~ 5/29 10:07 移送実施 |
| | | 3号機タービン建屋地下 | 5/29 11:22 ~ 移送実施中 |
| 3号機 | 3号機 タービン建屋 | 集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋) | 5/26 11:20 ~ 5/29 10:01 移送実施 |
| | | 集中廃棄物処理施設(プロセス主建屋) | 5/29 11:14 ~ 移送実施中 |

< 4 . 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (5/29 11:00 時点)

| 設備 | セシウム吸着装置 | 第二セシウム吸着装置 (サリー) | 淡水化装置 (逆浸透膜) | 淡水化装置 (蒸発濃縮) | 多核種除去設備 (ALPS) | 増設多核種除去設備 | 高性能多核種除去設備 |
|------|-------------------|-------------------|--------------|--------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 運転状況 | 運転中 ^{*1} | 運転中 ^{*1} | 水バランスをみて断続運転 | 水バランスをみて断続運転 | ホット試験中 ^{*2} | ホット試験中 ^{*2} | ホット試験中 ^{*2} |

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

< 5 . その他 >

- ・2014/6/2～ 陸側遮水壁工事を開始。
- ・2015/4/30 12:00～ ブライン(不凍液)循環設備の健全性及び地下水の流れによる影響等の確認のため1～4号機建屋の山側(18箇所)を対象に試験凍結を開始。
- ・2015/5/27～ 福島第一原子力発電所構内で設置している今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽(フランジ型タンク)の解体作業を開始。
- ・2015/5/29 10:08頃 構内の35m盤の五差路から2,3号機建屋へ向かう道路(2,3号機建屋側への下り勾配)脇に敷設されている耐圧ホースから水が漏れいしていることを協力企業作業員が発見。同日10:26頃、移送していたポンプを停止したことにより漏えいが停止したことを確認。当該側溝はK排水路に導かれているため、当該側溝内5箇所に土嚢を設置するとともに、バキューム車による水の回収を同日13:08に開始。K排水路の排水は、移送ポンプによりC排水路を経由して港湾内に放出されていることから移送ポンプを同日11:03に一旦停止したが、K排水路が港湾外へ越流する可能性があることから、同日11:27に港湾内への排水を再開。漏えいした耐圧ホースは、1,000tノッチタンクから3号機タービン建屋へ水移送に使用していたもの。
過去に採取したK排水路排水口における全ベータの分析結果については以下のとおり。
・5/27 採取分 29Bq/L(暫定値)
・5/28 採取分 1,200Bq/L(暫定値)
上記分析結果と耐圧ホースからの水の漏えいとの関連性については、現在調査中。

【1号機原子炉建屋カバー解体作業】

- ・2015/3/16 1号機の原子炉建屋カバー(以下、建屋カバー)解体工事に向けて準備工事を開始。
建屋カバー解体作業は、飛散防止剤散布等のダストの飛散抑制対策を十分に実施するとともに、ダストモニタおよびモニタリングポストにてダスト濃度等の監視を十分に行いながら慎重に進めていく。
- 5/15 6:45～5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタ及びモニタリングポストのダスト濃度等に、有意な変動は確認されていない。
- ・屋根パネル(計6枚)の取り外し作業を5/26頃から開始することとしていたが、原子炉建屋3階機器ハッチ開口部に設置したバルーンが、所定の位置に設置されていないことが確認され、復旧に時間を要することから、屋根パネルの取り外し作業を延期する。なお、ダストモニタおよびモニタリングポストのダスト濃度等に有意な変動は確認されていない。
建屋カバー解体作業に伴う放射性物質放出抑制対策として、開口部の面積を小さくすることで放射性物質の放出量を抑える(少なく)することを目的に設置。

【海水配管トレンチ立坑閉塞充填作業状況】

- 【2号機】・2015/2/24～ 海水配管トレンチの閉塞を目的として、立坑への閉塞材料の充填作業を実施中。
5/27 立坑A、Dについて充填完了。
- 【3号機】・2015/5/2～ 海水配管トレンチの閉塞を目的として、立坑への閉塞材料の充填作業を実施中。
- 【4号機】・2015/4/15～ 海水配管トレンチの閉塞を目的として、開口部への閉塞材料の充填作業を実施中。

【地下水バイパス揚水井の状況】

- ・地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。

【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

- < H4エリア周辺のサンプリング実績 >
 - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。
- < 福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績 >
 - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。
- < H6エリア周辺のサンプリング実績 >
 - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査／対策工事の実施状況】

<地下水観測孔サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

<地下貯水槽サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上